



Yomeishu

次のすこやかさへ、一步一步

2023年3月期 第2四半期 決算説明資料

養命酒製造株式会社 (2540)

2022年11月17日

 目次

1. 2023年3月期第2四半期 決算概要
2. 各事業の取り組み
3. 2023年3月期 下期施策と見通し
4. トピックス

1. 2023年3月期第2四半期 決算概要

損益計算書 (P/L)

(単位：百万円)

	2022年3月期第2四半期		2023年3月期第2四半期		増減額	増減率 (%)
		構成比 (%)		構成比 (%)		
売上高	4,829	100.0	5,163	100.0	333	6.9
売上原価	1,804	37.4	1,900	36.8	96	5.3
売上総利益	3,025	62.6	3,262	63.2	237	7.8
販売費及び一般管理費	2,535	52.5	2,601	50.4	66	2.6
営業利益	489	10.1	660	12.8	171	34.9
経常利益	684	14.2	873	16.9	189	27.6
四半期純利益	465	9.6	613	11.9	147	31.7

■ セグメントの変更

2023年3月期第1四半期会計期間より、新中期経営計画を策定したことに伴い、従来の「養命酒関連事業」の単一の報告セグメントから、「養命酒関連事業」、「くらすわ関連事業」の2区分に変更しております。

ご参考として本資料では前年同四半期の売上高についてのみ、変更後の区分により作成した数値を記載しております。

セグメント別の売上高

(単位：百万円)

	2022年3月期実績 第2四半期売上高 ※ご参考	2023年3月期 第2四半期売上高	増減額 ※ご参考	増減率 (%) ※ご参考
養命酒関連事業	4,443	4,678	235	5.3
国内養命酒	3,638	3,896	258	7.1
酒類・食品	420	370	△50	△11.9
海外	193	213	19	10.1
不動産賃貸・太陽光発電	191	198	7	3.8
くらすわ関連事業	385	484	98	25.6
合計	4,829	5,163	333	6.9

※前期の売上高を組み換えたご参考数値です

貸借対照表(B/S)

(単位：百万円)

	2022年3月末		2022年9月末		増減額	備考
		構成比 (%)		構成比 (%)		
流動資産	9,883	20.3	11,156	23.0	1,272	
固定資産	38,730	79.7	37,347	77.0	△1,383	
資産合計	48,614	100.0	48,503	100.0	△110	保有株式時価評価額の減少
流動負債	1,874	3.9	1,794	3.7	△79	未払金の減少
固定負債	4,560	9.4	4,585	9.5	25	
負債合計	6,434	13.2	6,380	13.2	△54	
株主資本 (うち自己株式)	35,999	74.1	36,104	74.4	105	利益剰余金の増加
	(△4,872)	(△10.0)	(△4,826)	(△10.0)	46	
評価・換算差額等	6,180	12.7	6,018	12.4	△162	
純資産合計	42,179	86.8	42,122	86.8	△56	
負債・純資産合計	48,614	100.0	48,503	100.0	△110	

キャッシュ・フロー計算書(C/F)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間	当第2四半期累計期間	備考
営業活動によるCF	642	864	
投資活動によるCF	△296	△228	有形固定資産の取得による支出
財務活動によるCF	△550	△553	配当金の支払
現金及び現金同等物の増減額	△204	82	
現金及び現金同等物の期首残高	2,575	2,433	
現金及び現金同等物の期末残高	2,371	2,515	

2. 各事業の取り組み

■ 新中期経営計画(2022年4月～2027年3月) 主要方針

経営理念
生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する

事業ビジョン
すこやかでより良い時間を願う人々を応援する

新中期経営計画
基本戦略 次の100年に向けた成長投資と持続的成長基盤の確立
既存事業の深化と新規事業の探索を同時に行う
「両利きの経営」の推進

戦略課題 - ①
効率を重視した
既存事業の収益力強化

戦略課題 - ②
「くらすわ」ブランドを
軸としたダイレクト
チャンネル事業の構築

戦略課題 - ③
サステナビリティ経営の
推進

戦略課題 - ④
事業領域の拡大に向けた
多様な人材活用と
人的資本・知的財産等の
無形資産への投資

中計最終年度(2027年3月期)定量目標

中計最終年度(2027年3月期)定量目標

売上高 200億円以上
(2022年3月期 105億円)

営業利益率 10%
(2022年3月期 9.4%)

ROE 4%
(2022年3月期 2.3%)

- ・ 既存事業(養命酒関連事業)100億円以上、新規事業(「くらすわ」関連事業)100億円により、売上高200億円以上
- ・ 効率を重視した既存事業の収益力強化により、営業利益率10%
- ・ 財務健全性に留意しながら成長投資を行うことで資本効率を高めつつ事業を拡大し、ROE (自己資本利益率) 4%

■ 各事業の主な取り組み（上期）

養命酒関連事業

- ・事業戦略部の設置
- ・製品ポートフォリオの見直しの開始
- ・広告宣伝及び営業活動の効率化

くらすわ関連事業

- ・ブランドシンボルとなる体験型施設の企画、設計の推進
- ・新商品開発、ギフト向け販売先の新規開拓
- ・人材配置の最適化、ブランディング

- ・DMP、RPA等のデジタル技術を活用した顧客拡大施策と業務効率化の推進
- ・サステナビリティ基本方針及び重要課題の公開
- ・健康経営戦略マップの策定・公開
- ・人的資本への投資及び気候変動リスク対応検討開始

■ 養命酒関連事業（国内養命酒）



国内養命酒売上高
3,896百万円

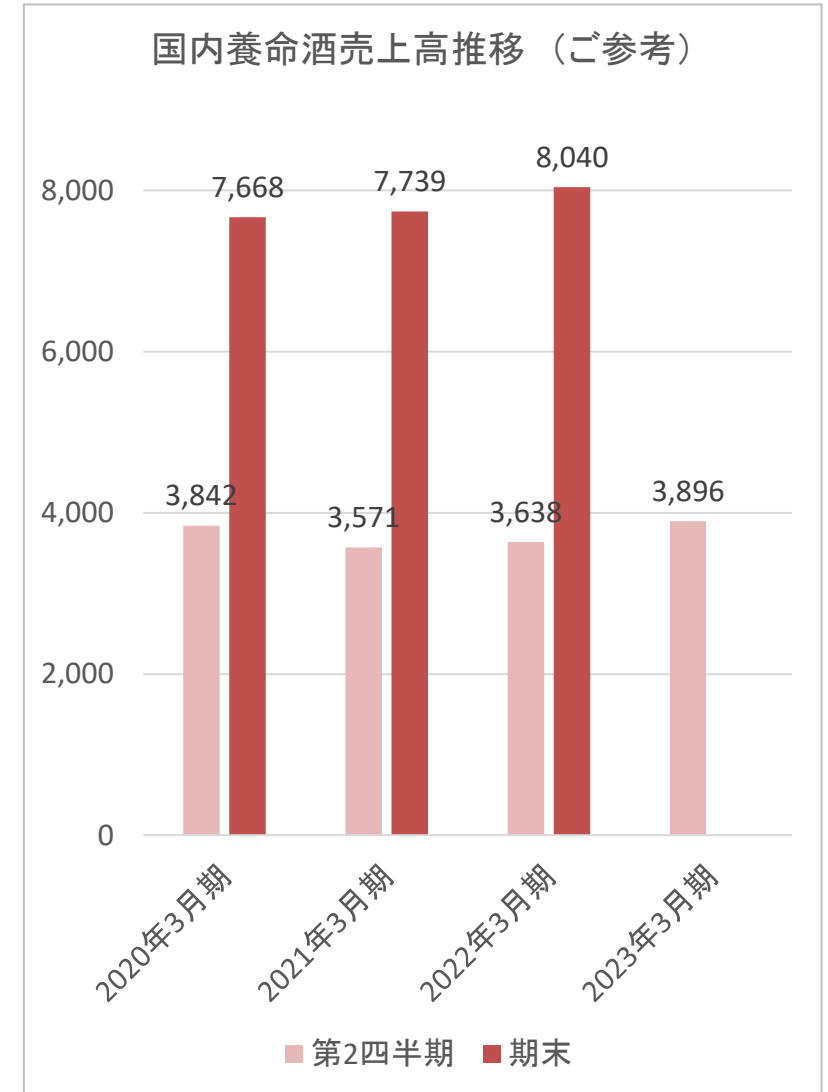
< 上期取組 >

- ・ 「夏を乗りきる」をテーマとしたテレビ、新聞広告の実施
- ・ Web広告による商品理解の促進
- ・ 広告と連動した売り場づくりで店頭露出を強化

< 売上増減要因 >

引き続きCMが好評を得ているほか、春～夏にかけて店頭での露出を継続的に高めたことにより売上が堅調に推移

(百万円)



※2022年3月期以前の数値は
現セグメントに合わせて再計算したご参考値です

■ 養命酒関連事業（酒類・食品）



酒類・食品売上 370百万円

< 上期取組 >

注力チャネルへの取組強化

酒類：ドラッグストアや生協、外食の開拓

食品：生協及び調剤薬局の開拓

< 売上増減要因 >

酒類：「クラフトジン」が堅調に推移した一方、「フルーツとハーブのお酒」についてはコンビニ中心に減少

食品：「養命酒製造クロモジのど飴」や、「グミ×サプリ」、「五養粥」が寄与

■ 養命酒関連事業（海外）



海外売上高 213百万円

< 上期取組 >

養命酒：中秋節等、季節と地域に合わせた
TVCMやWeb広告で需要を喚起

酒 類：「クラフトジン」を中心に各国で商談、
販売促進を実施し、オーストラリア等
へ輸出

< 売上増減要因 >

養命酒：各国でのコロナ禍による規制が緩和
される等で売上は回復傾向

くらすわ関連事業



売上高 484百万円

<上期取組>

店舗：地元客に向けた広告の実施（本店）

レストランメニューの更新（ソラマチ店）

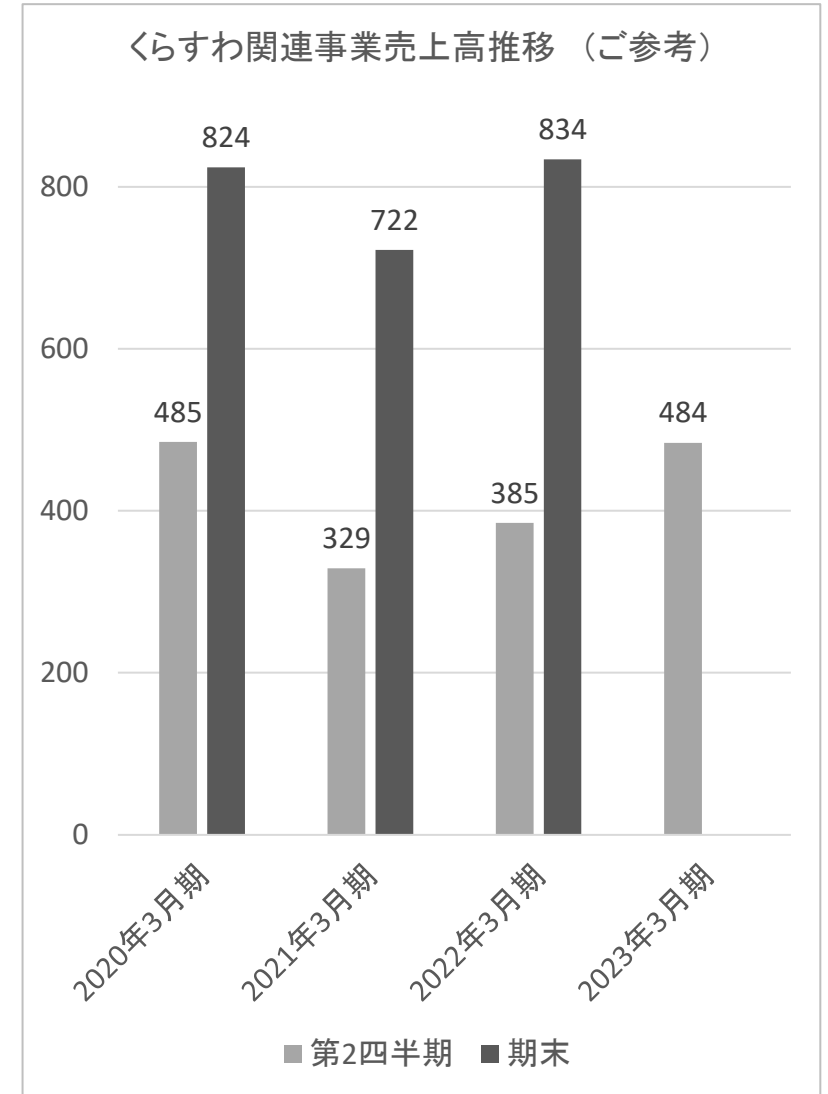
通販：ギフトカタログの制作

ギフト向け販売：既存取引の拡大、新規取引先の開拓

<売上増減要因>

新型コロナウイルス感染症の影響を受け減少していた
来客数が回復しつつあるため

（百万円）



※2022年3月期以前の数値は
現セグメントに合わせて再計算したご参考値です

くらすわ関連事業の取り組み

- くらすわギフトカタログ制作

お歳暮や大切な人への贈り物としてご利用いただける
冬向けギフトカタログを約11万部制作



養生なべ



五養粥



信州十四豚ソーセージ



カタログサイト

3. 2023年3月期 下期施策と見通し

■ 下期重点施策

養命酒関連事業

● 養命酒

秋冬の最需要期におけるTVCM（テーマ「一歩、一歩、健康に」）を中心としたマーケティング活動と効率的、効果的な店頭施策により新規飲用者の獲得、継続飲用者の維持を目指す

● 酒類・食品

「クラフトジン」「養命酒製造クロモジのど飴」など重点商品を中心に、注力チャネルでの取扱店の拡大と通年商品としての定番化を目指す

■ プロモーション（養命酒）

草刈正雄さん主演CM
「養命先生のいる街 一步、一步、健康に」篇
11月5日より放送中

※「養命」は、養命酒製造株式会社の登録商標です。



■ 下期重点施策

くらすわ関連事業

● 店舗

スタッフの採用や人材育成に注力し、全国旅行支援等による人流増加に対応した運営に努める。

● 通販

ギフトカタログ等での商品紹介を強化するとともに、組織体制作り着手

● ギフト向け販売

既存顧客との取引拡大を進めるとともに、新規取引先（カタログ販売）の開拓を中心に活動

通期業績（予想）

（単位：百万円）

	2022年3月期（実績）		2023年3月期（予想）		増減率（%）
		構成比（%）		構成比（%）	
売上高	10,577	100.0	10,910	100.0	3.1
売上原価	3,892	36.8	4,060	37.2	4.3
売上総利益	6,684	63.2	6,850	62.8	2.5
販売費及び一般管理費	5,688	53.8	5,840	53.4	2.7
営業利益	996	9.4	1,010	9.3	1.4
経常利益	1,361	12.9	1,370	12.6	0.6
当期純利益	949	9.0	1,000	9.2	5.3

10月11日に中間業績予想の修正を行いました。通期業績予想の修正はございません。

セグメント別売上高（予想）

（単位：百万円）

	2022年3月期 売上高（参考）	2023年3月期 売上高（予想）	増減額	増減率（%）
養命酒関連事業	9,833	9,910	78	0.8
国内「養命酒」	8,040	8,200	165	2.1
酒類・食品	992	880	△105	△10.7
海外	417	430	13	3.3
不動産賃貸・太陽光発電	383	380	5	1.4
くらすわ関連事業	743	1,000	256	34.5
合計	10,577	10,910	335	3.2

※前期の売上高を組み換えたご参考数値です

4. トピックス

■ くらすわ関連事業 体験型施設の進捗状況

第1期工事として、体験型施設の世界観、商業性、運営効率を想定した既存施設のリニューアルを実施（2023年4月オープン予定）

第1期工事対象施設

- ・ くらすわ駒ヶ根店（ショップ）
- ・ 養命酒ハーブの庭
- ・ 駒ヶ根工場見学コース



くらすわ駒ヶ根店リニューアルイメージ

次のすこやかさへ、一步一步



Yomeishu

将来見通しに関する注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製または転送等を行わないようお願い致します。